

ほっとニュース

発行：社会医療法人一成会 企画広報室

社会医療法人 一成会 理念



第12回 災害時医療救護訓練を行いました

今年も災害時医療救護訓練を小雨の中、10月14日(土)に行ないました。初めて第五中学校生徒も参加し、消防署、消防団、町屋二丁目仲町会、稲穂睦、厚生保護女性会の方々計26名と職員64名の合計90名の多数となりました。ご参加の皆さんご協力ありがとうございました。



院長の説明を聞きみなさん



トリアージの様子



通信訓練の説明を真剣に



停電を想定した暗がりでの二次トリアージ

下肢静脈瘤の患者さんから治療のご感想をいただきました

下肢静脈瘤手術の感想

平成29年6月25日

竹村直樹

下肢静脈瘤の高周波カテーテル手術が、日帰りできるとの情報を得て、早速木村病院の予約をとって訪問しました。

20年以上気になりながらも放置してきた静脈瘤でしたが、両足とも同日に手術し、特に症状のひどい左足は表層の血管も摘出していただくことになりましたが、初診の日に施術前の検査をすべて済ませていただき、通院2日目手術日となり時間的にも大助かりでした。

当日は部分麻酔の手術でしたが術中に痛みは殆ど感じず、カテーテルを挿入してから片足10分程度で終了し、左足の表層血管の摘出は30分程度かかったと思いますが、入室後の事前準備から術後処理まで含めて1時間半くらいですべて終了しました。

カテーテル挿入口2か所と血管摘出口数か所が傷口としてテープで止めてありましたが、帰路は歩いてても全く違和感なく自宅まで電車で帰りましたが、当日も翌日も痛み止め薬は必要なく、傷口も数日で完全にふさがったようです。

手術翌日と一週間後の診察で血流のエコー検査がありましたが異常なく、血管摘出をしていない右足は治療の痕跡すらありません。今は歩いて、自転車での上り坂でも足が軽くなったような気がします。どうもありがとうございました。



術前



術後

お写真の使用許可、並びにご感想をお寄せくださいますようお願いございました

お知らせ

インフルエンザワクチンの製造が去年より少ないと報道されています。まだ、接種していない方は、なるべく早く接種することをおすすめします。



第5回 医療フォーラム

「日ごろから考える、医者とのかわり方」

あなたが考える理想の医者とは？

医者が考える理想の患者とは？

医療に対する不平不満をお持ちの方は、

意外と多いかもしれません。

あなたはどんな医者が理想ですか？

医療サービスの担い手として、

医者の理想のカタチは？

最適な医療を受けるために患者は

どうあるべきなのでしょう？

今後の医療のことをみんなで考えてみませんか？

日 時：2017年12月2日(土) 14:00～16:30

主 催：医療グループあすか

会 場：木村病院地下患者食堂

参加費：1000円

フォーラム終了後に懇親会を催します。

参加ご希望の方は別途4000円が必要です。

お問合せ先 電話 090-9296-3063 (坂本)

090-8200-0762 (村井)

第59回 全日本病院学会 in 石川に参加しました

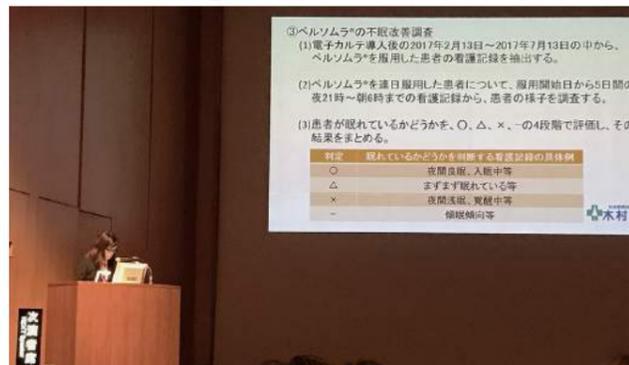
全日本病院協会が主催する全日本病院学会が9月9日、10日の二日間、石川県金沢市で日本全国の多くの病院が参加して開催されました。参加者数は3000人を超え、木村病院からも院長はじめ13人が参加しました。

木村病院からは

- ①薬剤科「入院患者の不眠時対応の検討～薬と薬以外の対応の評価と考察～」
- ②外来「訪問看護研修の取り組み～看護師のスキルアップのために～」
- ③2階病棟「せん妄のケアに必要なこと～せん妄アセスメントシートを使用してみ～」
- ④リハビリテーション科「誤嚥性肺炎に対するポジショニングの検証」

の4つの演題発表を行いました。医療の進歩は、「日進月歩」ではなく、「秒進分歩」の例えがあるくらい早いスピードで進歩しています。当法人では、この学会の他、医師達は、それぞれに所属する様々な専門学会に参加して皆さんに提供する医療の質の向上に努めています。また、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、

診療放射線技師等も研修会に参加し、その研修レポートの提出数は、年間237件（2016年度）にもなります。法人として研修会の出席を推奨し、職員が新しい知識技術を習得する事を応援しています。



①薬剤科
 薬剤師 佛坂 芳枝
 今回、私は初めて演者として参加させていただきました。発表時間の制限や質疑応答など、参加するにあたり色々なハードルがありましたが、何とか無事に終わることができてよかったと感じています。発表を思い返すと反省点も多々ありますが、今まで準備してきたことを自分なりに全部出し切れたと思うので今は満足しています。私自身、大勢の前で話すことは得意ではないのでプレッシャーもありましたが、最後までやり遂げることができ、少し自信がつかしました。苦手なことを自分から進んで行うことは決して簡単なことではなかったけれども、何でも挑戦する事は大切だと思うので、これからも色々なことに挑戦していきたいと今回の発表を通じて強く思いました。



②外来
 看護師 李 瑠美
 全日病学会、初めて参加しました。発表演題はどれもレベルの高さを感じました。ポスター掲示での発表で演者と傍聴者の距離が近く、質疑応答では和やかな雰囲気でした。他病院の内視鏡演題を3例聞きました。データの取り方、研究方法等 来年度の集談会※に向けて良い参考になりました。また、下部内視鏡の前処置、腸管洗浄液飲用の取り組みでは「自宅飲み」と「病院飲み」の比較で、下水道料とトイレトーパーの消費を数字で表示していたのは興味深かったです。
 ※集談会（法人内研究発表会）



③2階病棟
 看護師 澤下 賢子
 今回、当病棟の研究でせん妄※1アセスメント※2シートを使用し、1.せん妄のリスク、2.せん妄症状のチェック、3.せん妄対応と段階的にアセスメントし、せん妄を引き起こす複数の要因に対し[ケアを行うこと][アセスメント方法の理解や定着][他部門との連携]、これらの必要性があると認識しました。そして、これらのことは当院だけでなく、超高齢社会である日本の多数の病院で重要視されていると思えました。何故なら、他院の研究発表「せん妄予防のケア」で同様の意見が述べられていたからです。他の病院の取り組みを聞いて、リスク要因をアセスメントし、せん妄予防のケアを行うことが、
 ○患者の安全安楽を守ることにつながる
 ○せん妄を起こす身体的要因（促進因子）への介入が重要であること
 ○看護チームだけでなく、多職種と行なっていく必要があること
 など多くの共感と学びがありました。そして、せん妄予防のケアはこれからも取り組むべき課題であると再認識しました。

※1 せん妄（認知症とは違い一過性のもの）
 ※2 アセスメント（評価すること）

全日本病院協会とは
 「全国の病院の一致協力によって病院の向上発展とその使命遂行に必要な調査研究等の事業を行い、公衆衛生の向上、地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする」という理念のもと、日本全国で約8400ある病院のうち約2500の病院が加盟しています。



④リハビリテーション科
 理学療法士 石村 操
 今回、演題発表する機会をいただいた。反省することもあるが、良い経験にすることができた。演題発表の準備は演者を中心に行なっていくが、周りのサポートの大切さや、必要性を痛感した。協力してくれる自科スタッフがいることをとても感謝した。演題の『ポジショニング』※1は院長によるところの「医学を医療につなげる」ための取組であり、医療の質の向上を目指して取り組んだ。チーム医療として、病棟他科スタッフにも協力いただき、実施出来たことは大変良かった。当院スタッフの医療の質向上に対する意欲を感じるが多かった。学会はリハビリテーションに関する発表を中心に聞いていた。印象に残ったのはALS※2患者さんがコミュニケーションに使用するパソコン操作の入力スイッチについてで、症状に合わせてこまめにスイッチの種類を変えて対応しており参考になった。他科の発表は、2階病棟看護師の発表が興味深い内容だったので、発表時間が重なって聞けなかったのは残念だった。外来看護師の発表は、質疑応答がスムーズで流石だと思った。数年前からの訪問看護を理解する取り組みには「え、そんなこともやっていたの」と驚いた。学会発表を通じて、日々の業務の改善に取り組むことや、他科を知ることができたのは良い経験になった。

※1 安定した姿勢をとるための方法
 ※2 ALS（筋萎縮性側索硬化症。難病の一つで筋力の萎縮と低下をきたす）

